

(ご参考：3/17) 経済関係ニュースレター (在シアトル総領事館)

ワシントン州日系企業・団体・レストラン関係者の皆様

在シアトル日本国総領事館経済班です。

本ニュースレターでは、当地の日系企業・団体、レストラン関係者の皆さまを含む在留邦人の方々へ、当地経済や日米関係等のニュースを「経済関係ニュースレター」として配信するものです。今後の配信を希望されない場合は、件名に「ニュースレター配信解除」と記入の上、こちらまでメールを返送ください。

本日の参考情報を以下のとおりお知らせします。

このニュースレターでは、多くの方にご利用いただける有益な情報の提供があった場合、情報元を示して掲示しています。なお、このことは、総領事館として、情報元の団体・個人をいかなる意味でも宣伝・推薦するものではないことを申し添えます。

本ニュースレターを追加で受け取りたい方が周りにいらっしゃいましたら、[こちらの登録フォーム](#)をご紹介ください。また、当地日系企業等に周知できる有益な情報などございましたらお知らせください。館内で確認し、公平・中立の観点から適切なものを本ニュースレター等で共有させていただきます。

在シアトル総領事館では別途、月2回の英語ニュースレター"From Japan to the Northwest"を配信しています。こちらでは日本に関する政治・外交等の情報や当館の活動などを発信しています。登録及び過去のアーカイブは[こちら](#)から。

1. 日ワシントン州経済関連ニュース

(1) シリコンバレーバンクの経営破綻によるシアトル地区のテック産業への影響

10日に経営破綻したシリコンバレーバンク (SVB) は、シアトル地区のスタートアップ及びテック企業の 30~50 パーセントが取引を行っていた主要な銀行であり、ベンチャーキャピタルからの資金の預け入れに多く利用されていた。13日、連邦政府の救済により再開され、取引ができなくなっていたシアトル地区のテック企業も預金の引き出しができるようになったものの、他行が避けがちなリスクのあるスタートアップへの融資に積極的だった SVB は、今後、同様の融資を継続できないと見られる。また、テック産業の減速により、ベンチャー投資会社は

以前よりも投資を控えるようになっており、今後、スタートアップの資金調達は厳しい状態に置かれると予想される。さらに、ワシントン州では、州内のワイナリーの 10~20 パーセントが SVB から融資を受けており、ワイン産業への影響も懸念される。[\(3/11 付けシアトルタイムズ、3/14 付けシアトルタイムズ\)](#)

(2) シアトル市での交通事故が増加する一方、交通違反の取り締まりは 90%減少

シアトル市において、非犯罪の交通違反で警察から交通違反切符を切られた運転者は 2010 年代には年間平均で 4 万名に及んだが、2018 年には同 2 万 8000 名だった。しかしながら、2022 年には同 4000 以下と、大幅に減少している。最近になってシアトル市では、軽微な交通違反では取り締まりをしないと発表しており、警察改革の影響があると見られる。一方で、市内の交通事故とそれに関連する事故死は増加し、過去 15 年間で最多となっている。[\(3/15 付けシアトルタイムズ\)](#)

(3) ワシントン州の新パンデミック補助金の申請が 14 日に開始

パンデミック中に業績損失を受けた州内のレストランやホテルをはじめとするホスピタリティ産業に対する補助金の申請ポータルが 3 月 14 日に開始された。 申請のためのページは[こちら](#)ら。

(4) ワシントン州が無料のコロナ検査キット配布を 5 月に終了

ワシントン州保健局は、無料のコロナ検査キットの配布を 5 月に終了する。 5 月までは州のウェブサイトにおいて申請が可能だが、新たな申請は低所得者が多い地域の郵便番号の住民に限られる。2022 年 1 月のプログラム開始以来、ワシントン州では 1500 万個のコロナ検査キットを無料配布してきた。ワシントン州の無料検査キット申請ページは[こちら](#)。[\(3/9 付けワシントン州保健局ニュースリリース\)](#)

(5) その他、ジェトロビジネス短信記事より

- ・ 3/16 付け [米運輸省、EV 充電施設拡充へ 25 億ドルの新たな助成金発表](#)
- ・ 3/15 付け [カリフォルニア州貿易投資フォーラム、日米企業がクリーンテックで連携模索](#)
- ・ 3/15 付け [丸紅、米リフト・エアクラフトが開発・製造する空飛ぶクルマの実証飛行実施](#)
- ・ 3/14 付け [経産省・ジェトロのグローバル起業家育成プログラム「始動」、米シリコンバレーへ日本企業を派遣](#)
- ・ 3/14 付け [米テネシー州、日系自動車部品メーカー OTICS USA の拡張投資を発表](#)
- ・ 3/13 付け [東京ガス、米エイチツーユー・テクノロジーズと水電解装置向け低コスト触媒を共同開発へ](#)

2. イベントのお知らせ

(1) 4/1 英語で学ぶコンピュータ・サイエンス season5 第6回

英語でプログラミングの基礎を学ぶ子ども向けのオンラインセミナーが4月1日（シアトル時間）に開催されます。今回は、Season 5 でこれまで学んできた内容を、子どもたちがプレゼンテーション形式で発表します。また、楽しい Kahoot クイズ大会やブレイクアウトルームでのエンジニアの方々との質問タイムもあります。

【日 時】 2023年4月1日（土）17時20分～19時20分 PDT

【主 催】 Kids Code Club

【参加費】 無料

【対 象】 小・中学生（10歳～15歳ぐらいまで）※内容は小中学生向けですが、高校生もお申し込みいただけます。

【定 員】 120名

【参加登録】 お申し込みは[こちら](#)から

編集後記： 早いもので、シアトルに着任してから3年の月日が過ぎてしまい、来週、日本に帰国することとなりました。米国での生活は何もかもが新鮮で、毎日が驚きの連続でした。来る時に6歳でまだ幼さの残っていた息子も、もう小学校の高学年になろうとしていることにもびっくりしてしまいます。

パンデミックを機に始めたこのニュースレターは今後も継続していく予定ですので、引き続きよろしく願いいたします。

(注意点)

本情報は、ワシントン州の主要な行政機関や団体のウェブサイトの情報をもとに、その時点における当地日系企業・NPO・邦人労働者に役立つ情報を、皆様のご参考として迅速に日本語で届ける目的で発信しているものです。法的助言を構成するものではなく、法的助言として依拠すべきものではありません。実際の申請等に当たっては、該当するウェブサイトで最新の情報や詳細を直接ご確認ください。なお、当館として個別企業の申請書作成等の支援は出来かねますのでご容赦ください。

(免責)

本メール又は当館情報に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の、付随的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責任、あるいはその

他の原因に基づき生じたか否かにかかわらず、一切の責任を負いません。

(領事メールについて)

当館では外国に3ヶ月滞在される在留邦人に対し、旅券法に基づく在留届、帰国・転出等の届出をお願いしております。本届けでメールアドレスをご登録いただいた方に対して、コロナに関する情報や各種安全情報を領事メールにてお送りしておりますほか、緊急時の安否確認を当館から行うためにも必要なものですので是非ご協力ください。詳細はこちらをご覧ください。

https://www.seattle.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/zairyu.html

(Unsubscribe:本日系企業支援関係メールについて)

当館が把握しておりますワシントン州日系企業にお送りしております。今後、本メールが不要な方はその旨ご返信をお願いいたします。

Consulate-General of Japan in Seattle

701 Pike Street, Suite 1000

Seattle, WA 98101

206-682-9107